

学習課題（小学校 4 年生）



【国語】計画を立てて少しずつ取り組んでいきましょう。

<学習内容>

- ◆「図書館の達人たつじんになろう」（教科書 30～31 ページ）は、学校の授業じゅぎょうで行います。教科書を読んでおきましょう。
- ◆「漢字の組み立て」（教科書 32～33 ページ）に取り組めます。
 - ① 教科書を読んで、「かんむり」「あし」「にょう」「たれ」「かまえ」の仲間の漢字について、ノートや取組シートに書き写します。
※例：くさかんむり「花」「菜」「薬」だけではなく、「花火」「開花」など、その漢字を使う熟語じゅくごも練習しましょう。
 - ② 33 ページの□に取り組めます。「たけかんむり」「れんが」「しんにょう」のつく漢字を集め、ノートや取組シートに書きます。（教科書 146～151 ページの漢字も参考さんにできます。）集めた漢字を見て、それぞれ何なんに関係のある漢字か予想よそうしてみましよう。
※例：「くさかんむり」…主に植物しょくぶつに関係のある漢字
- ◆「聞き取りメモの工夫」で学習する新出漢字（覚～必まで）をノートに練習じゅんします。（読み方や書き順などは、153 ページに出ています。）

<保護者による関わり方のポイント>※可能な範囲でお願いします。

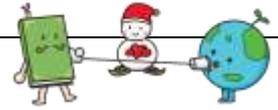
- ・P32～P33 以外にも「うかんむり」や、「くさかんむり」のつく漢字など、お家の方が知っている漢字があれば、教えてあげてください。まだ学習していない漢字でも「こういう漢字もあるよ。」とお知らせしてあげることで、今後の学習時に思い出したり漢字学習に興味をもつきっかけにもなったりします。

参考

※各教科書会社HPには、臨時休業中の学習に役立つ内容が掲載されており、札幌市公式HP「臨時休業中の学習課題」内の「[役立つリンク集](#)」で紹介しています。各教科の学習を進める際に、お役立てください。



【社会】



<学習内容>

◆「北海道地方」（ち づ ち ょう地図帳 69～72 ページ）をもとに、北海道の様子について調べ、取組シートやノート、白地図に取り組もう。

(1) 北海道をかこむ 3 つの海の名前を書き出そう。また、北海道の白地図にも、3 つの海の名前を書いてみよう。

(2) 北海道のとくさんひん特産品や有名なものなどを 5 こ書いてみよう。10 こ以上書けたら、北海道はかせだね。

※地図帳やしりょうなどを見て、調べるとよいですね。

(3) 「北海道地方」（地図帳 69～70 ページ）を見て、自分が行ったことがある市町村し ちょうそんや知っている市町村の場所を指さし、地名を声に出して言ってみよう。

※白地図に、調べた市町村名を書き入れると、さらによいですね。

◆「都道府県の特産品」「空から日本を見てみると」（教科書 132～135 ページ）や地図帳（116～117 ページ）をもとに、日本の都道府県の名前と位置について、取組シートやノート、白地図に取り組もう。

(1) かんとう関東地方には 7 つのとどうふけん都道府県があります。関東地方の白地図に都道府県名を書きましょう。また、それぞれの都道府県には、どんな特ちょうがあるか、調べ、分かったことをまとめよう。

(2) 関東地方にある 7 つの都道府県の位置をそれぞれ指でさしながら、都道府県名を声に出して言ってみよう。何も見ないで、すべて言えるようになったらすばらしいです。

※都道府県の特ちょうや特産品もいっしょに言えるとさらによいです。

<保護者による関わり方のポイント>※可能な範囲でお願いします。

◆「わたしたちの県」

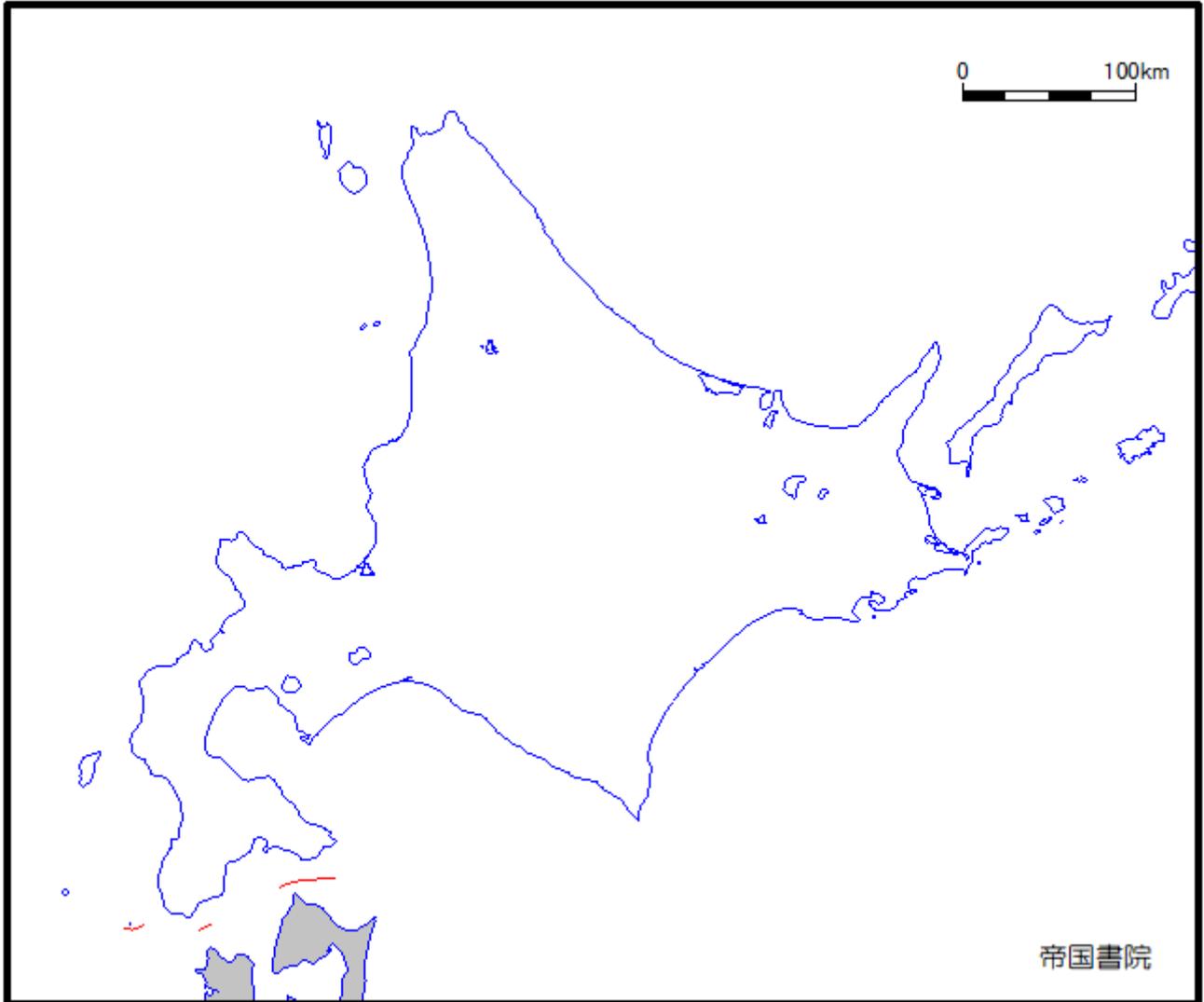
・北海道や関東地方の特産品や有名な場所などについて、行ってみたい場所や知っている場所などを地図帳で一緒に探すと、興味・関心を高めることができます。

・答えることができた県名が増えたなどの頑張りを認め、お子さんが継続して取り組もうという意欲につながる声かけをお願いします。

※地図帳の P115 に、QR コードがついています。閲覧が可能であれば、こちらも御活用ください。

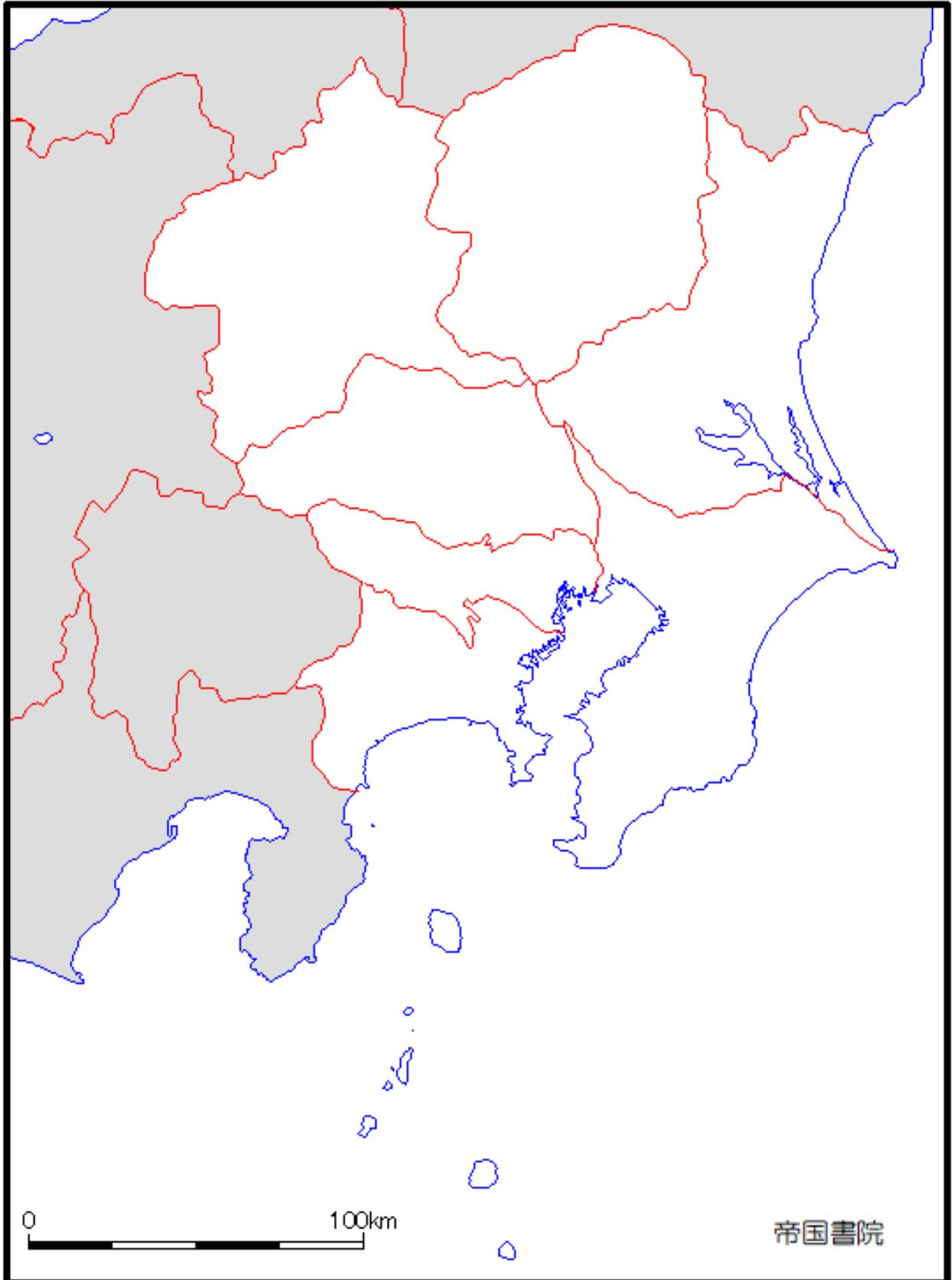
白地図 ほっかいどう（北海道）

名前 _____



白地図 かんとう ち ほう
（関東地方）

名前 _____



【算数】

「※」は、学習するときのアドバイスです。

＜学習内容＞

◆折れ線グラフ（教科書 53～54 ページ）

- (1) 教科書 53 ページのはっぱ 5 の問題で、はるさんは自分のつくった折れ線グラフを「わかりにくい」と感じたようです。はるさんがどうして「わかりにくい」と感じたのか、その理由をノートか取組シートにかこう。

※先週の課題と比べるとどこがちがうかな？

- (2) 教科書 53 ページの「㊸のグラフ用紙」と「㊹のグラフ用紙」に折れ線グラフをかきこんでみよう。

※二つのグラフ用紙について、「わかりやすい」と感じたほうがあれば、忘れないようにノートや取組シートに記録しておこう。

- (3) 教科書 54 ページにある、ゆきさんの話に合う折れ線グラフを㊸から㊹の中から^{えら}選び、選んだ理由をノートか取組シートに書こう。

※とちゅうで火を止めた時、どんな折れ線グラフになるかな？

＜時間があったらやってみよう＞

- (4) 教科書 54 ページのはっぱ 7 の問題を考えてみよう。

※5日以降に、グラフがどのように変化するか予測できるかな。

＜保護者による関わり方のポイント＞※可能な範囲でお願いします。

◆折れ線グラフ（教科書 P53～54）

・グラフの学習では、そのグラフから「どんなことが分かるのか」（見る）、「どうしたらより分かりやすく見せられるのか」（表す）を考えることが大切になります。

・折れ線グラフの学習を通して、変化の様子から、未来を予測することもできることを知り、今後日常の生活場面でも活用している姿が見られたら、ぜひ、ほめていただきたいと思います。

※インターネット上にある「まなびリンク『折れ線グラフツール』」で、折れ線グラフをつくることもできます。

（教科書 P4 に、QR コード・HP アドレスがついています。）

【理科】

<学習内容>

◆「動物のからだのつくりと運動」（教科書 22 ページ）の問題（からだのいろいろな部分のつくりと動き方はどのようになっているのだろうか）について、自分の体をさわったり、教科書の写真や図を見たりして、考えましょう。

- ・体のいろいろな部分を動かして、関節がある部分を調べ、教科書 23 ページの図にしるしを書きましょう。
※体を動かすと、どこが関節が曲がるかな。
- ・体のいろいろな部分を動かして、きん肉がちぢんだりゆるんだりする部分を調べ、教科書 23 ページの図に書きましょう。
※体を動かすと、どこが筋肉が動くかな。
- ・教科書 24～25 ページを見て、ほねやきん肉のつくりと動き方を調べて、取組シートやノートに書きましょう。
※ほねやきん肉には、どのような働きがあるのかな。

<保護者による関わり方のポイント>※可能な範囲でお願いします。

- ・この学習では、曲がる部分と曲がらない部分の違いや筋肉の動きに気付くことが大切です。
- ・体のいろいろな部分を動かすように声をかけ、その際の筋肉の動きに気付くように声をかけてください。